

平成 30 年度霞ヶ浦コンシェルジュ養成講座第 3 期第 2 回 実施報告

実施日時：平成 30 年 5 月 13 日（日）13:30-15:30 場所：霞ヶ浦環境科学センター

講師：沼澤篤（霞ヶ浦環境科学センター） 受講者数：13 名

要旨：第 17 回世界湖沼会議に向け、霞ヶ浦を訪れる多くの参加者に、霞ヶ浦についてわかりやすく解説していただく“霞ヶ浦コンシェルジュ”（案内人）を養成する「霞ヶ浦コンシェルジュ養成講座」第 3 期第 2 回を実施しました。

解説実習に先立ち、まず担当講師から「解説では、起承転結があるとよい。簡単に言えばメリハリのことです。最初に、相手を聴く気にさせるツカミ、話の途中で意表をつく話題、そして最後のオチがあると、相手は最初から最後まで興味をもって聴いてくれる」「落語家やお笑い芸人のようなプロの話術を参考にするとよい」「霞ヶ浦の話題は多岐にわたるが、自分の得意な分野から勉強していけばよい」「第 17 回世界湖沼会議に一日でもいいので積極的に出席して、参加者に話しかけてみてください」などと助言がありました。

続いて、受講生が得意とするテーマを自ら選び、他の受講者を前に、自分の言葉でわかりやすく解説、案内する形式での実習を行いました。

受講者は、一人約 20 分の持ち時間（質疑応答を含む）で、発表形式は、パワーポイント、配布資料などを使って説明するかたちをとりました。今回受講者が選んだテーマは、「霞ヶ浦の過去の水害の経験から、残された課題は何か」「茨城県南、特に霞ヶ浦の観光スポットの紹介」「アオコが発生しない湖沼をめざす、水質改善案」「茨城の県民性の特徴を生かしながら霞ヶ浦をきれいにするには」「霞ヶ浦の外来魚の話題」でした。これらの解説に対し、他の受講者から質問やコメントがあり、有意義な質疑応答ができました。質問に的確に答えることも実習の一部でした。今回も、聴講のみを希望された方がおられました。第 3 期の第 3 回は 5 月 20 日（日）に実施予定です。全 3 回のうち 2 回以上出席し、1 回以上解説実習を経験した方々に修了証を交付する予定です。



解説実習する受講者



解説実習する受講者